



神風の乳首 はじめての 本番

双月氷雨

R18
Adult
Only

一日目

「神風のおっぱいの事、なんで知ってるの!？」
あっ……朝風ね!!

あいつが喋ったのね?!

秘密にしておいてって言ったのに……酷い!!

お願い、朝風なら好きにしていいいから……

神風は見逃して、私ネームシツプだから!!

こいつ意外とクズだなあ。
単なる興味本位で剥いたら
サクッと妹を売ってきたよ。
面白いから勘違いさせたまま
遊んでやろう。

二日目

明らかにちくちくしてーしてるでしょ。

「してません！」

引っ張るのが気持ち良いみたいなの……

「してません!!」

今だっで気持ち良さ……

「してません!!!」

こいつぁ
なかなか強情だ。



三日目

そういう事なら
とことん相手してやろう。



もう母乳が出るまで終わらせない。
朝風だって母乳が出たんだし、
お姉ちゃんにだって出せるだろう。
さあさあ、びゅびゅっと一発
気前良く出しちゃって下さいよ。

四 日 目

ああ何て事、あれやこれや
いじり回したら
母乳ではなく
おもらし
だなんて…



五日目

これはもう仕方ない。
母乳を出さない悪い乳首に
お説教だ。

全く……
妹を売った挙句に
お乳も出ないなんて
だらしない乳首め。

六日目

っいに出た!!

さすが朝風のお姉ちゃん!!

ネームシップは伊達じゃない!!

これでキッチリ汚名返上だね。

「な…何で出るの…?」

おっぱいはもんだら出るの。

知らなかった?

後日…

憲兵さんに知られちゃって
独居房入りしちゃった(テヘペロ
「それで、反省とかしてないんですか。」

反省とか以前に、神風の成長は
確認するのが責務じゃない。

「二度目は長いですよ、独居房。」

口答えだけは達者なんだからもう…

あら、ちゃんと母乳も出るじゃない。

「春風とでも遊んでてください。」

あの子は陥没を気にしてますから

神風なんかより楽しいですよ。」

また、しれっと妹を売りにくるなこいつ。



更に後日…

ただでさえ長くて
気にしていた乳首が
いじり回されたせいで
より長くなったのが
とても不満な神風。

でも、思う存分
乳首をいじったのが
気持ち良くて…
悔しさをにじませながら
今日もちくにーしている。

神風の乳首をいじる本

制作：ツキトコオリノ

著者：双月氷雨

印刷：有限会社ねこのしっぽ

発行：2019年9月7日

Pixiv：17131

Twitter：@sniflaye

mail：rona_hf@hotmail.com

無断での転載・複製は禁止です。

